

HKFA Technical Report



2022年度B級コーチ ライセンス講習会遠隔地コース③ レポート

2022年度B級遠隔地コースは全日程を無事に終了しました。最終回は、オホーツクから参加の藤村茶久美コーチよりレポートしてもらいます。

1 講習会の様子

間の学習を終えて後期がスタートしました。

第3モジュールでは、GKの講義と実技を行いました。実技を行うだけではなく、FPとGKの関わり、GKも含めた全体を観る・指導することの大切さを学びました。2日目は、中央突破とゴール前の守備の実技を行い、2つの講義ともにonの部分のみではなく、その前段階での現象や、offの選手の動きと関わりからエラーの原因などを分析することを学びました。

午後はゲーム・プレーの分析と審判の講義がありました。分析では、小グループにわかれ映像から課題を見つけ、どう改善していくかについて話し合い各グループで発表を行いました。3日目は各テーマでTr.2とゲームの指導実践と振り返りを行いました。ペアでkeyfactorを共有しながらTr.2からゲームまでの積上げを元にプランニングをしました。間の学習で各受講者が学びを深めたことよって、前期よりもオーガナイズやコーチングも質の高い内容になっていたと思います。

また、振り返りでも受講者同士の意見を交流し、よりテーマに迫ったディスカッションになっていて、たくさんの気づきがありました。第4モジュールでは、セットプレーの講義と実技（セットプレーゲーム）を行いました。2グループに分かれ講義で学んだセットプレーのメリットをもとに、各チームでCK・P K・間接・直接・スローインのセットプレーを練習し、楽しい雰囲気の中ゲーム形式で競いました。

2日目は、Tr.2からゲームまで初めて1人ずつの指導実践を行いました。他の受講者の指導実践をみて学ぶことや気づきが多く、またインストラクターとの振り返りの中で良かった点や課題の整理ができ、試験に向けてよい学びとなりました。

試験では、1日目に筆記試験と口頭試験がありました。2日目と3日目には、各自割り当てられたテーマのなかからTr.2とゲームまで指導実践の最終試験がありました。緊張感のある中で指導実践でしたが、前期から3ヶ月間学んできたことを踏まえ、課題はまだありますが、全力で臨むことができたと思います。

女性一人の参加ということで、当初不安がりましたが、参加してみると同じ志を持った受講生の方々と熱心に指導して下さったインストラクターのおかげで指導について真剣に考え、話し合い、気づきや学びの連続で、本当に参加して良かったと思いました。この講習会でできた指導者同士の絆を大切にしていきたいです。また学んだことをもとに、選手により質の高い指導を提供できるように、ここからも学び続けていきたいです。（文責：藤村茶久美）

